

平成29年度指定管理業務 評価票

1 基本事項

(1)公の施設の名称	糸魚川市青海屋内水泳プール
(2)施設の設置目的	水泳を通じて市民の健康増進を図るとともに、市民スポーツの振興に資するため、屋内水泳プールを設置する。
(3)所管部署	生涯学習課
(4)指定管理者	株式会社新潟ビルサービス
(5)指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日までの5年間
(6)主な事業	・屋内水泳プールの管理運営 利用申込の受付等・利用料金の徴収・水泳教室・プール施設の管理業務、施設、設備、器具及び備品の維持管理

2 管理運営状況

(1)平成29年度管理運営状況(主要な取り組み・成果、地域貢献等の実績)			
幅広い年齢層が利用しやすい教室プログラムの企画・運営により、多くの市民の方が利用できるような取り組みを実施。利用者数は若干前年度を下回ったが、利用料金収入はわずかに上回った。市立小中学校の大会・授業でプール使用の協力を行っている。中体連からの依頼で市内の教員に対して水泳指導の講習会を実施。また、直営時から引き続き地区の水泳クラブの活動にコースを開放しているほか、フィンスイミングの団体等市内の水泳団体の活動に対してもコースを開放している。			
(2)利用状況			
(単位:人)			
	H27年度	H28年度	H29年度
指定管理者名	株式会社新潟ビルサービス	株式会社新潟ビルサービス	株式会社新潟ビルサービス
総利用者数	39,071	40,165	39,499
「利用者サービス」における市の状況分析	過去最高の入館者数を記録した平成28年度と比較すると若干減少したものの、引き続き高い水準で入館者を確保している。 また、多様な教室プログラムを企画し、多くの市民から利用いただける事業運営を行っている。 さらに、市内中学校や水泳クラブにコースを開放しているほか、中体連からの要望により、教員への水泳講習も行っている。		

(3)収支状況

(単位:千円)

区 分		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度(予算)
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画
収入	指定管理料	25,900	25,900	25,900	25,900	25,900	25,900	25,900
	利用料金	1,500	1,932	1,500	1,831	1,500	1,682	1,500
	事業収入	6,800	8,858	6,800	9,372	6,800	9,632	6,800
	その他営業収入等	750	453	750	425	750	392	750
	修繕費	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,469	1,500
計		36,450	38,643	36,450	39,028	36,450	39,075	36,450

(単位:千円)

区 分			H27年度		H28年度		H29年度		H30年度(予算)
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画
支出	人件費	正規職員	13,772	13,772	13,772	15,043	13,772	15,608	13,772
		パート職員	4,669	4,669	4,669	5,102	4,669	5,121	4,669
		季節職員	349	349	349	362	349	397	349
	賃金								
	旅費		200	159	200	193	200	112	200
	報償費		500	407	500	251	500	306	500
	需用費	消耗品費	1,000	1,495	1,000	1,756	1,000	1,405	1,000
		燃料費	6,820	6,763	6,820	5,080	6,820	7,786	6,820
		食糧費							
		印刷製本費	200	182	200	479	200	255	200
		光熱水費	4,140	4,813	4,140	4,167	4,140	4,724	4,140
		修繕費	1,500	1,500	1,500	1,499	1,500	1,469	1,500
	役務費	通信運搬費	200	210	200	168	200	166	200
		広告料							
		手数料							
		保険料	170	167	170	279	170	265	170
	委託料	機械警備業務委託費	156	156	156	161	156	161	156
		水質検査業務委託費	225	225	225	226	225	212	225
		ボイラー地下タンク検査費	285	285	285	293	285	263	285
		自社管理費	1,004	993	1,004	1,212	1,004	993	1,004
	使用貸料及び	賃貸料							
		借上料	360	39	360	25	360	21	360
		使用料							
	原材料費		300	144	300	131	300	106	300
	備品購入費		400	0	400	0	400	180	400
	雑費		200	229	200	174	200	139	200
	計		36,450	36,557	36,450	36,601	36,450	39,689	36,450

収支差額	0	2,086	0	2,427	0	-614	0
------	---	-------	---	-------	---	------	---

「収支状況」における市の状況分析	入館料収入は減少したものの、教室運営収入の増加により、ほぼ昨年度並みの収入を確保している。 支出においては、燃料(灯油)単価の上昇や、設備故障、さらには寒波の影響で燃料費が増大し、若干の赤字となったが、例年同様、営業終了後に冬場のプール水面へブルーシートをかけることにより、水温の低下を防ぐなどコスト削減に努力している。
------------------	--

3 適正な管理運営の確保

目標管理	評価指標	安心・安全な管理運営の達成
	目 標	事故をゼロとする
	実 績	事故0件（仕様書に基づき適正な管理運営業務を実施した。特に安全管理の強化を心がけた。）

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・誰もが利用できる仕組みを構築し運営しているか。	自主事業（水泳教室等）は、一般ご利用者の利用スペースを確保したうえで実施した。泳ぐ利用者だけでなくウォーキングの利用者にも配慮したコース配分に心掛けた。また、必要に応じ、プールのフロアを設置し幼児の使用にも配慮した。
	・協定書及び仕様書等に基づいて設備の保守点検や備品の点検を適正に実施しているか。	備品等に移動が発生した場合は、速やかに報告している。設備の保守点検、備品の点検は、適切に行った。
	・協定書、事業計画書等で定めた職員体制がとられているか。	館長1名、水泳指導員・監視員3名、受付・監視員4名、清掃員1名の体制で運営しており、協定書の規定を満たしている。
	・利用者が安全、安心して利用できるような緊急・救急体制を有しているか。	危機発生時対応マニュアルをもとに各種訓練を実施した。安全対策としてアームヘルパーを設置した。
	・事故防止や事故発生時の対応について研修等を実施しているか。	7月14日、3月23日 消防避難訓練を実施。 7月14日 社内応急手当普及員による普通救命講習及び監視研修を実施。 8月13日 水難学会指導員による着衣泳講習を実施
	利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	館長が苦情対応の責任者となりマニュアルに基づき対応している。プールの水温、室温については巡回時に確認し、適正温度を維持するよう努めた。

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評 価	A A	A A
	評価理由	管理運営に関しては、利用者の安全と利便性を第一に考え施設運営を行ってまいりました。事故防止・発生時に備えて各種訓練を行いました。特に、利用者が多くなる夏休み前に監視員の資質向上のため監視研修を実施し安全の確保に努めました。社内の「応急手当普及員」による普通救命講習も実施いたしました。また、設備等による事故防止の為、適切に保守点検を行っております。	毎年、積極的に監視研修や普通救命講習などの研修を実施し、職員の資質向上の取組みを行っているほか、利用者を対象にした着衣泳講習を行うなど、安全意識の向上を図っていることは評価できる。また、施設や設備等の修繕も適切に行われ、地元業者を使用している点についても評価できる。
	改善事項	施設老朽化に伴い今後も設備の故障が想定されます。設備等の事故発生を未然に防ぐため、引き続き適切な保守点検に努めます。	今後も継続して研修・訓練を行い職員の安全意識の向上に取り組み、万全の危機管理・安全管理体制を維持していただきたい。

【評価基準】

ランク		目標達成率(%)	判断基準
AAA		115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。
AA		105%以上 115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの。
A	A+	100%以上 105%未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの。
	A-	95%以上 100%未満	
B		80%以上 95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの。
C		80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの。

4 利用者サービスの向上や利用者数増の取り組み

目標管理	評価指標	利用者人数の増加						
	目 標	計画値 37,000人						
	実 績	利用者 39,499人（対目標値 106.8%）						
資料	(単位:人)							
	項 目	H26年度	H27年度	①H28年度	②H29年度	③H29年度 計画値	達成率 ②/③	対前年度比 ②/①
	一般利用者	16,501	14,044	13,361	12,344	17,000	72.6%	92.4%
	教室利用者	21,829	25,027	26,804	27,155	20,000	135.8%	101.3%
	合 計	38,330	39,071	40,165	39,499	37,000	106.8%	98.3%

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・利用促進に向けた取組みに努めているか。実現可能な利用促進策を実施しているか。	無料開館日及び無料体験教室の継続実施により新規利用者の確保に努めた。
	・教室、イベント、自主事業などの取組み状況	水泳教室の開催時間や内容、定員等は毎回見直し、利用者のニーズに合うよう改善を行っている。水の安全にかかわるイベントも企画した。
	・利用者数増加のためのPR活動は実施しているか。	市の広報紙やホームページの活用に加えて、市の施設、市内の各企業・スポーツ施設に積極的にPR活動を行った。
	・利用者アンケート等を活用し利用者の要望や意見を把握しているか。また対応策を講じているか。	アンケートボックスは常時設置し、ニーズを把握している。その都度、スタッフミーティングを行い、対応策を検討し実施している。
	利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	アンケートボックスで意見等を集約するほか、保護者会やご利用者との声掛け等により生の意見も集めて、速やかな対応を心掛けた。また、日々の細かな要望等については、即対応した。

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評 価	A（A+）	AA
	評価理由	サービスの向上については、アンケート、口頭でのお申し出を積極的に集め、意見を把握して運営に反映できるようすすめております。今年も水泳教室の開催日、時間帯、内容の見直しを開催する都度に行いました。特に今年は成人男性教室、水中運動、幼児教室に力を入れて運営。利用促進を目的に多くの方にプール施設を体験していただく為、「新春初泳ぎ無料開放」を実施致しました。また水中運動の無料体験も継続して実施し新規顧客獲得に努めました。	残念ながら一般利用者は、年々減少傾向であるが、水泳教室については、利用者のニーズを常に把握し企画することで、過去最大の利用者となり、全体利用者数も高い水準で推移している事は評価できる。 また、着衣泳体験会や新春初泳ぎ無料開放、水中運動の無料体験などで、水泳に親しむ機会を提供し、入館者の確保にも努力している。
	改善事項	今後もアンケートや口頭でのご利用者のご意見・要望を集め、水泳教室の内容や運営全般に反映させて、ご利用者の増加に繋げてまいります。	一般利用者及び教室利用者にも引き続きアンケート調査を実施し今後の運営に繋げてもらいたい。

【評価基準】

ランク	目標達成率(%)	判断基準
AAA	115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。
AA	105%以上 115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの。
A	A+ 100%以上 105%未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの。
	A- 95%以上 100%未満	
B	80%以上 95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの。
C	80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの。

5 収支や収益の向上に関する取り組み

目標管理	評価指標	収入額の達成状況						
	目 標	計画値9,050,000円						
	実 績	11,706,589円（対計画値129.4%）						
資料	(単位:円)							
	項 目	H26年度	H27年度	①H28年度	②H29年度	③H29年度 計画値	達成率 ②/③	対前年度比 ②/①
	一般収入	2,155,780	1,941,120	1,831,525	1,682,395	2,500,000	67.3%	91.9%
	教室収入	7,822,100	8,849,230	9,371,920	9,631,800	5,800,000	166.1%	102.8%
	物品販売	429,806	453,378	425,446	392,394	750,000	52.3%	92.2%
	合 計	10,407,686	11,243,728	11,628,891	11,706,589	9,050,000	129.4%	100.7%

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・ 利用料収入の目標達成度	目標値を達成した。
	・ 収入増加のための取り組みを実施しているか。	オリジナル商品の販売やカップタイプのドリンクの販売等の物販は継続して実施。水泳教室で成人男性教室、幼児育成教室に力を入れて集客に努めた。利用者が減少する冬期間にはマスターズやフィンスイミングの愛好家等の団体に利用を呼び掛けてコースを開放して集客に努めた。
	・ 収支決算書は適正に作成されているか。	適正に作成した。
	・ 経費削減や業務の効率化に取り組んでいるか。	平成26年度より開館時間の見直し（一部短縮）を行った。29年度も継続。灯油の納入業者に納入単価の見直しを依頼して経費の縮減につなげている。
利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応		アンケートボックスにより意見等を集約したほか、利用者への声掛けにより要望を集め運営に反映した。

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評 価	A A	A（A+）
	評価理由	目標値は達成しましたが、設備故障に伴う燃料費が昨年度より増え支出は対昨年度で増加となりました。今後は積極的な利用促進を行うとともに設備等の点検をさらに強化し収支に影響の出るような設備故障を可能な限り回避できるよう努めてまいります。	教室収入は年々増加しており、スタッフの努力が伺えることは評価できる。また、施設修繕については、施設が老朽化している中、早期発見に努め迅速に対応している。ただ、毎年一般入館者数の減少が課題であり、今後の入館者増につながるような方法を検討してほしいことから、総合的に判断しA（A+）評価とする。
	改善事項	イベントや教室の内容、告知方法を工夫し、さらに利用者を増加させ、収支の改善に努めます。	一般利用者の確保に向けてさらに努力をお願いしたい。教室については、引き続き利用者ニーズを把握して運営をしてほしい。

【評価基準】

ランク	目標達成率(%)	判断基準
AAA	115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。
AA	105%以上 115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの。
A	A+ 100%以上 105%未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの。
	A- 95%以上 100%未満	
B	80%以上 95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの。
C	80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの。

6 公の施設の設置目的と全体評価

検 証 等		市の評価		
	評 価	設置目的	目標管理（評価指標）の再掲	指標別評価
		利用者数を増やし、市民の健康増進を図るとともに、水泳技術の向上を図る。	適正な管理運営の確保	AA
			利用者サービスの向上	AA
			収支の実績	A（A+）
		評価内容		
	・平成26年度より水中運動を教室のコースに組み込む等、市民の健康増進を図る取り組みを行っており、設置目的に合致している。 ・毎年3月に開催している水泳記録会への参加人数も年々増加している。（H26年度143名→H27年度149名→H28年度152名→H29年度162名） ・当施設は平成元年の開設より、経年による老朽化が進み、施設内容も近年造られたプールに比べればレジャー性に乏しく、一般利用者の集客が困難ではあるが、指定管理者は創意工夫により、適正な管理運営と利用者へのサービスを行い意欲的に集客に努め利用者数は維持されている。 ・灯油単価の上昇により、燃料費がかかり収支がマイナスとなったが、冬季のブルーシートや灯油単価の価格交渉などコスト削減に努力している。 ・上記の内容に指標別の評価を含め、全体的に判断し、総合評価を「AA」とした。			AA
課題検証	・一般利用者数の増加 幅広い年齢層の市民に温水プールの良さをPRして新規利用者の開拓や、より多くの市民に利用していただける対応策の検討が課題である。			
改善事項	・収入増加への取り組みを強化、拡大実施してもらいたいことから、大人の利用者の増加に繋がるサービスの導入や教室の拡充等について検討願いたい。 ・平成32年度に新プールが開館することから、大幅な設備更新が無いよう日常のメンテナンスを引き続きお願いしたい。			

【総合評価】

評価区分	判断基準
AAA	優良である
AA	良好である
A	適正である
B	課題がある
C	改善を要する

評価委員会の意見

糸魚川市青海屋内水泳プール（サンドリームおうみ）

項目	意 見
管理運営 利用者サービス 収支実績	・ 事故が無く、適切な安全管理体制を維持している。今後も設備点検等に努めていただきたい。 ・ 教室利用者数は過去最多となり、指導者も好評を得ている。引き続き、利用者数が高い水準で推移できる取り組みをお願いしたい。 ・ 一方で、一般利用者数が減少傾向にある。健康づくりのための利用者が増える工夫をお願いしたい。
全体評価	・ 収支計画の策定にあたっては、指定管理者と市が連携を図って、各年度の積算をきちんと行い、適正な指定管理料の算定につなげていただきたい。 ・ また、市は目標や実績の見せ方をより具体的にすることにより、サービスの向上や利用者の増加を目指せるよう、評価方法を工夫していただきたい。